

諏訪の景気動向

平成29年11月

(平成29年10月末 D・I調査)

平成29年11月30日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏 訪 信 用 金 庫

諏訪地方の景気動向（平成29年10月末調査）

「平成29年10月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方178社のご協力を得て行った平成29年10月末の「景気動向調査(DI調査)」は、回答全社の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは10.6となった。7年ぶりに20以上のプラスとなった前回調査時(平成29年7月末、以下同)の20.6より悪化したものの、総体的には堅調に推移している。製造業の業況判断DIは15.2で、前回の21.5からは悪化した。全体をけん引している。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは0.0で、前回の18.9から悪化した。「3ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が2.4(前回10.3)、非製造業は△11.4(前回10.4)で、回答全社では△1.7(前回10.3)と慎重な見方が強くなっている。

世界的な景気拡大の中で、10月は株価が21年ぶりに2万2000円台に達するなど、国内景気は回復傾向が続いている。諏訪地方も製造業は、幅広い業種で堅調な受注状況となっている。ただ、人手不足や材料不足に加え、大手企業の不正問題が表面化し、懸念要因もある。非製造業は、10月に2週連続で週末に到来した台風など天候不順が、商業や観光業の客足に影響をおよぼした。建設業は人手不足感が強い。労働力確保は多くの業種の課題で、回答全社の従業員数評価は、「3ヶ月前」に比べて、37.6%が不足としている。

製造業の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、前回の29.4から17.6へ悪化したものの、前回の3ヶ月後の予想4.8を大幅に上回り、高水準の受注が続いている。業況、売上、収益性の各DIも前回予想を上回っている。「前年同期」との比較では、業況判断、売上、受注の各DIで50%以上の企業が好転している。一方、「3ヶ月後」の予想DIは、業況判断が前回の10.3から2.4、受注状況は4.8から4.0、収益性予想は3.2から△2.4と、減少予想が多くなっている。受注は増加しているものの、材料不足が広範囲にわたる中で、日産自動車やスバルの無資格者検査問題や神戸製鋼の性能データ改ざん問題が浮上。地域の企業に現時点で直接的な影響は見られないが、取引先からの問い合わせの対応に追われる企業もある。運賃上昇も懸念材料。従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて38.4%が「不足」とし、3ヶ月後も同様な傾向が続くと見られている。

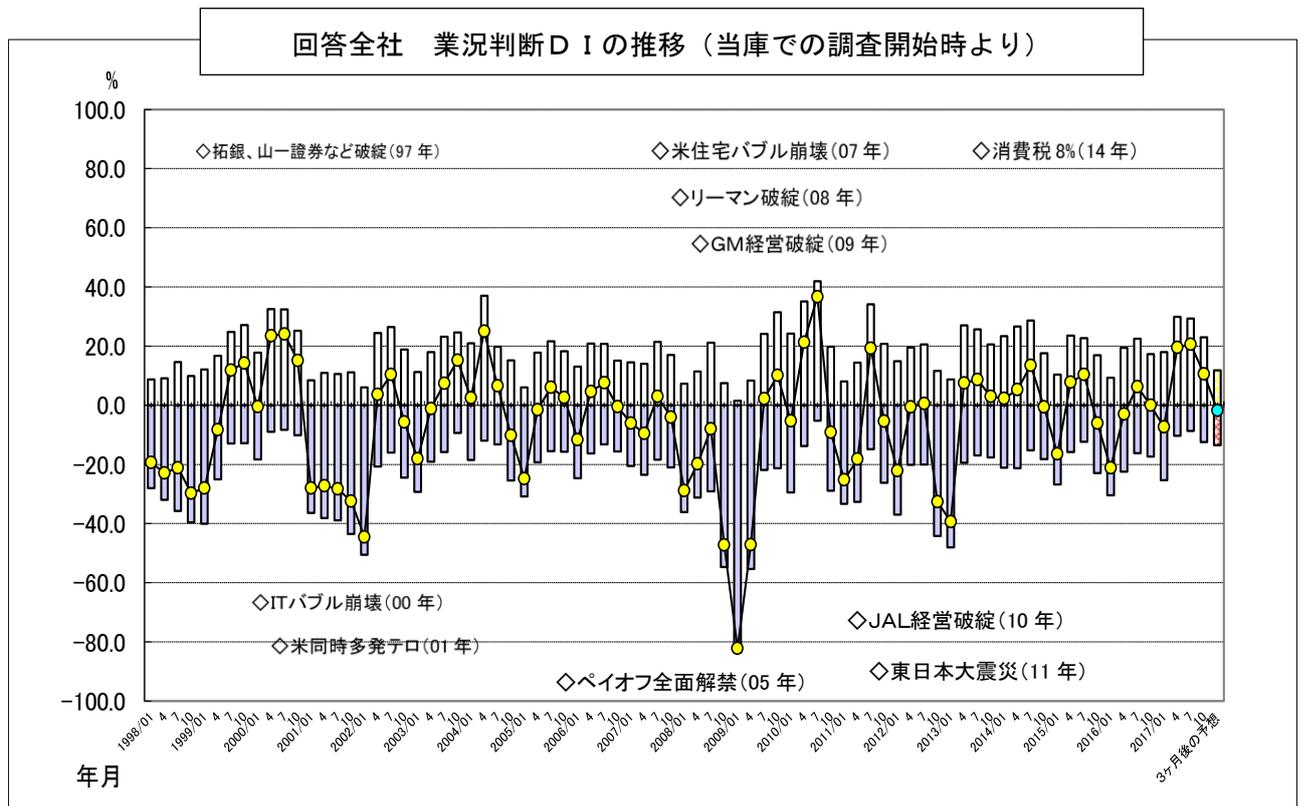
商業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、前回と同じ3.8で推移した。来店客数DIは前回の0.0から△19.3へ大幅悪化した。客単価DIは△15.4から△3.9へ改善し、収益性DIは前回と同じ△7.7だった。また、原材料の仕入れコストDIは前回の11.5から34.6へ上昇している。例年にない悪天候による客足の減少に加え、青果の相場安、鮮魚の高止まり、他県で発生したO-157への対応などの影響を受けた飲食店や小売店が多い。日系英国人のノーベル文学賞受賞で書籍販売は伸びた。松本市で開業した大型ショッピングモールの影響は今のところ少ないと見られる。「3ヶ月後」の予想は業況判断DIが△19.2(前回0.0)、売上DIは△11.5(前回△7.7)、来客数DIは△23.1(前回△11.5)と厳しい見方が多い。

観光・サービス業は、秋の観光シーズンで伸びが期待されたが、前回の3ヶ月後の予想DIから大きく落ち込んだ。業況は31.3の予想から△25.0、売上も31.3から△41.6、宿泊客数は25.0から△25.0となった。諏訪地方は台風などの影響で過去3番目の降水量の多さと、過去4番目の日照時間の少なさとなり、ゴルフ場などの屋外施設や宿泊施設はキャンセルが相次いだ。衆議院選によるキャンセルもあった。「前年同期」と比べた業況判

断DIは△8.4(前回△25.0)、売上DIは△16.7(同△18.8)で、宿泊客数DIは△8.3(同△31.3)と、御柱祭の影響があった前回に比べると改善しているものの、いずれもマイナス圏内となった。冬季シーズンとなる「3ヶ月後」の業況判断予想DIは△8.3(同 31.3)、客単価DI△16.7(同 12.5)、宿泊客数△8.3(同 25.0)となった。

建設業は、「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは 13.3 で、前回調査の 12.5 から改善した。受注状況DIも前回の 6.3 から 33.3 と大幅改善した。「3ヶ月後」の業況予想DIは 0.0(前回 6.3)でやや悪化予想が増えた。受注予想DIは前回の 0.0 から△13.3 と悪化した。従業員数の評価は「3ヶ月前」に比べて60%が「不足」としている。諏訪地方の平成 29 年 9 月の新設住宅着工戸数は 85 戸で、前年同月比 16 戸減少(△15.8%)した。平成 29 年 4～9 月の累計着工戸数は 546 戸で、前年同期比 51 戸減少(△8.5%)した。平成 29 年 4～10 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事の累計は 92 件、3,526 百万円で、前年同期比件数は 6 件減少したが、契約金額は 205 百万円増加(6.2%)した。10 月の市町村からの受注工事は合計 87 件 832 百万円で、前年同月比件数で 3 件減少したが、契約金額は 73 百万円増加した。

雇用状況は、平成 29 年 9 月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を 0.07 ポイント上回り、前月を 0.01 ポイント下回る 1.64 倍となった。1 倍台は 42 ヶ月連続。長野県は 1.68 倍で、全国は 1.52 倍だった。諏訪地方は、新規求人数(全数)が 1,850 人で前年同月比 69 人増加(3.9%)した。新規求職者数は 729 人で前年同月比 32 人減少(△4.2%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、医療・福祉業で 49.6%、建設業で 46.9%増加し、その他サービス業が 41.9%減少した。求人の要因別では、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順となっている。1 件 10 人以上の人員整理はなかった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は 21 人で、前年同月より 6 人減少、前月より 35 人減少した。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(178社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が23.0%、「横這」企業が64.6%、「悪化」企業が12.4%で10.6となった。前回調査時点で3ヶ月後の予想DIは10.3で、ほぼ予想通りとなった。

製造業は、「好転」企業が前回の28.6%から26.4%へ2.2ポイント減少し、「悪化」企業は7.1%から11.2%へ4.1ポイント増加した。前回、大幅改善し今回は横ばいの企業が多く、総体的に高水準で推移している。非製造業は、「好転」企業が前回の31.0%から15.1%へ減少し、「悪化」企業は12.1%から15.1%へ増加した。観光・サービス業の業況判断DIは△25.0で前回の50.0から75ポイント悪化した。商業は前回の3.8と同様で、建設業は13.3で前回の12.5より改善した。

産業別業況表

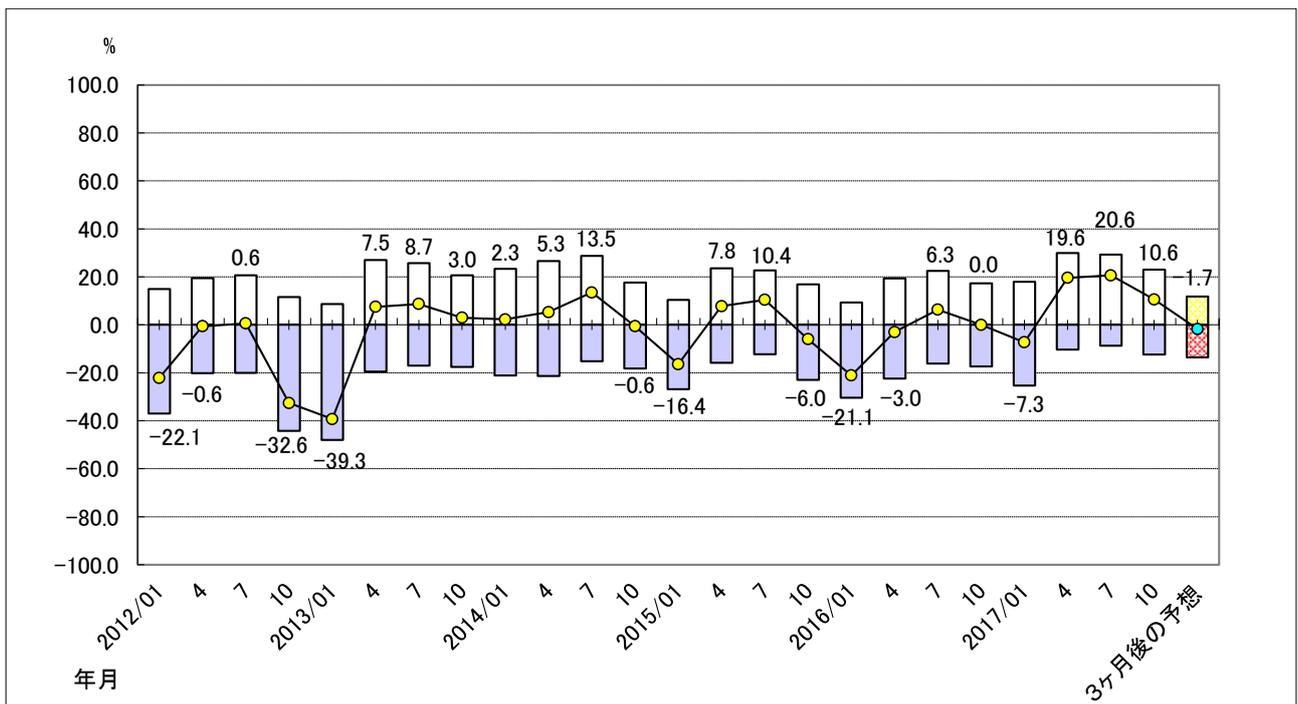
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	178	23.0	64.6	12.4	10.6	178	41.6	40.4	18.0	23.6	177	11.9	74.6	13.6	-1.7
製造業	125	26.4	62.4	11.2	15.2	125	50.4	34.4	15.2	35.2	124	12.9	76.6	10.5	2.4
非製造業	53	15.1	69.8	15.1	0.0	53	20.8	54.7	24.5	-3.7	53	9.4	69.8	20.8	-11.4
商業	26	19.2	65.4	15.4	3.8	26	26.9	34.6	38.5	-11.6	26	7.7	65.4	26.9	-19.2
建設業	15	13.3	86.7	0.0	13.3	15	20.0	73.3	6.7	13.3	15	6.7	86.7	6.7	0.0
観光・サービス	12	8.3	58.3	33.3	-25.0	12	8.3	75.0	16.7	-8.4	12	16.7	58.3	25.0	-8.3

自社業況判断DIの推移

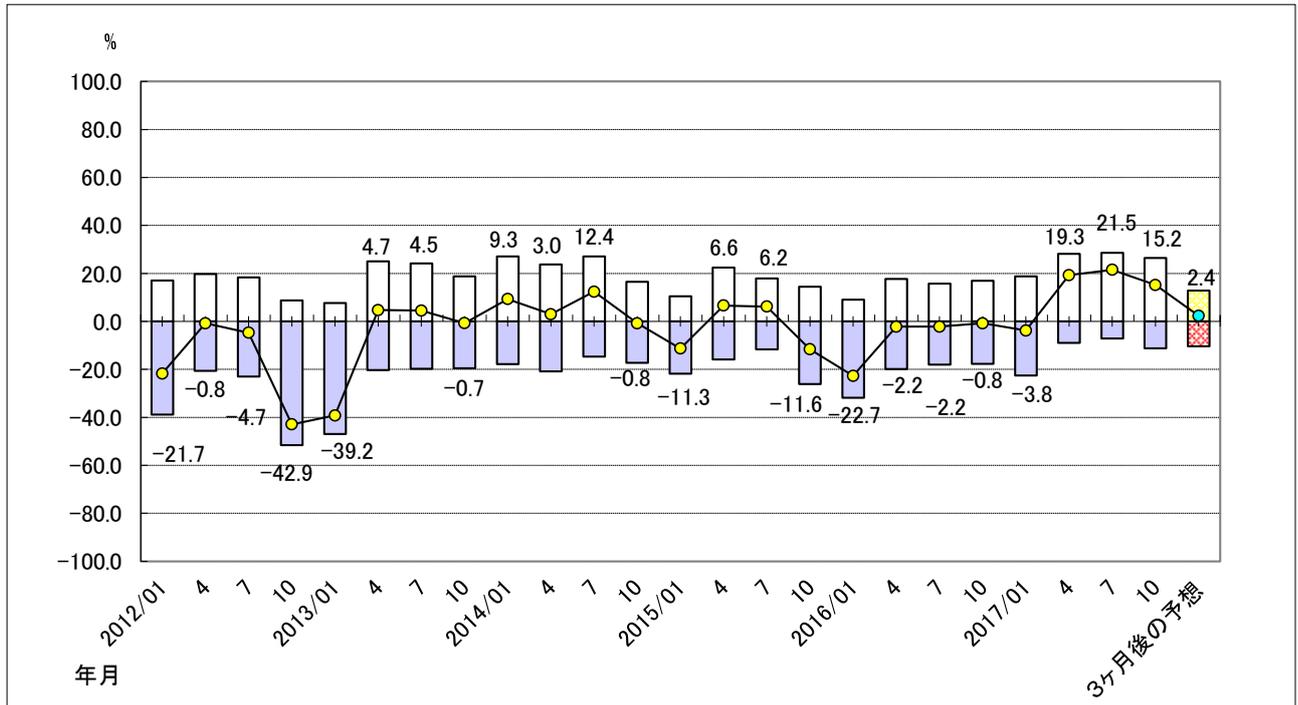
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



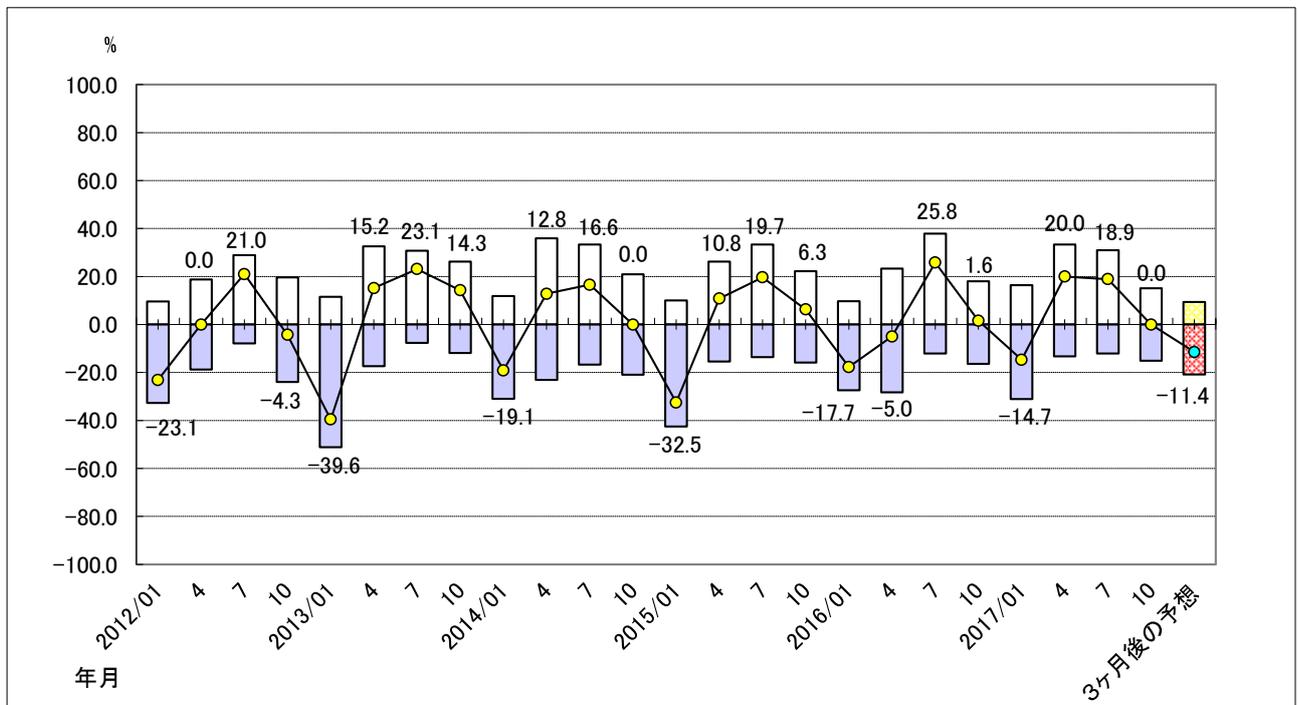
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-3



産業別景気動向

1. 製造業

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べ 15.2 で、平成 22 年 7 月調査以来の高水準となった前回の 21.5 より悪化した。「前年同期比」も 35.2 と前回の 37.3 から 2.1 ポイント悪化し、「3ヶ月後」の予想は 2.4 で、前回の 10.3 から 7.9 ポイント悪化した。

設備投資DIは、「3ヶ月前」に比べて 16.0 で前回の 12.7 より改善した。受注量増加や人手不足などへの対応で、設備投資する企業が増えている。「前年同期比」も前回の 19.1 から 26.4 へ改善している。「3ヶ月後」の予想DIは 20.8 で、前回の 16.6 から改善している。

収益性DIは、「3ヶ月前比」で 4.8 と前回の 9.5 から 4.7 ポイント悪化し、「前年同期比」は前回の 27.8 から 12.0 へ 15.8 ポイント悪化した。「3ヶ月後」の予想は△2.4 で、前回の 3.2 から悪化しマイナス水準となった。

業種別(主要 5 業種)の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「精密機械」が 50.0(前回 21.5)と改善し、「輸送用機械」は 14.3(同 14.3)で前回と同様で、「金属製品」が 35.3(同 44.4)、「一般機械」は 9.4(同 18.7)、「電気機械」が△8.3(同 12.0)と悪化した。

「前年同期比」では、「輸送用機械」が 64.3(同 57.1)、「一般機械」は 25.0(同 21.9)と改善し、「金属製品」が 82.3(前回 88.9)、「電気機械」が 12.5(同 28.0)、「精密機械」は 41.6(同 50.0)と悪化した。

「3ヶ月後」の予想DIは、「一般機械」が 9.3(前回 9.4)とほぼ同率で、「金属製品」は 0.0(同 16.6)、「輸送用機械」が 0.0(同 14.3)、「電気機械」は 0.0(同 12.0)、「精密機械」は△9.1(同 7.1)と悪化予想が増えている。

大手企業へ優先的に資材が供給される傾向で、多くの業種で材料の品薄が続き、材料を確保できずに受注ができなかったり、納期遅れが発生している企業もある。

経営上の課題に、「労働力確保」を上げる企業が多く、「3ヶ月前」「前年同期」「3ヶ月後」とも約 4 割の企業が従業員数の不足を感じている。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	125	26.4	62.4	11.2	15.2	125	50.4	34.4	15.2	35.2	124	12.9	76.6	10.5	2.4	
規模	1~29人	66	21.2	63.6	15.2	6.0	66	43.9	39.4	16.7	27.2	65	7.7	81.5	10.8	-3.1
	30~99人	43	32.6	62.8	4.7	27.9	43	58.1	30.2	11.6	46.5	43	20.9	67.4	11.6	9.3
	100人~	16	31.3	56.3	12.5	18.8	16	56.3	25.0	18.8	37.5	16	12.5	81.3	6.3	6.2
分類	金属製品製造業	17	41.2	52.9	5.9	35.3	17	88.2	5.9	5.9	82.3	17	11.8	76.5	11.8	0.0
	一般機械器具製造業	32	18.8	71.9	9.4	9.4	32	40.6	43.8	15.6	25.0	32	15.6	78.1	6.3	9.3
	電気機械器具製造業	24	16.7	58.3	25.0	-8.3	24	37.5	37.5	25.0	12.5	24	12.5	75.0	12.5	0.0
	輸送用機械器具製造業	14	14.3	85.7	0.0	14.3	14	64.3	35.7	0.0	64.3	14	7.1	85.7	7.1	0.0
	精密機械器具製造業	12	58.3	33.3	8.3	50.0	12	58.3	25.0	16.7	41.6	11	9.1	72.7	18.2	-9.1

① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて35.3で、大幅改善した前回調査時の44.4からは悪化したが、高水準で推移している。「前年同期比」も82.3(前回88.9)と同様な傾向となっている。自動車関連や省力化機械装置、ロボット関連、半導体製造装置関連など、多方面からの受注増加傾向が続いている。ただ、「3ヶ月後」の予想は0.0(前回16.6)で、慎重な見方が強くなっている。

● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて9.4で、前回の18.7より悪化したものの、好調な状態が続いている。「前年同期比」は25.0で、前回の21.9より改善している。「3ヶ月後」の予想は9.3で前回の9.4とほぼ同率だった。省力化機械は幅広い分野で旺盛な受注が続き、新規予約が1年先まで満杯の企業もある。工作機械も引き続き増加傾向で先行きの明るさもある。自動車部品関連も堅調で、中国で需要が高まる電気自動車関連の受注も見られる。半導体製造装置関連は堅調に推移しているが、一部ではピーク時に比べ減少した企業がある。受注に伴う材料部品の確保が共通の課題となっている。

● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「3ヶ月前比」で△8.3と前回の12.0から悪化し、「前年同期比」も12.5と前回の28.0から悪化している。「3ヶ月後」の予想は0.0で前回の12.0から悪化した。前回より悪化傾向だが、総体的には堅調に推移している。製造ラインに使用する半導体関連やスマホ、自動車、各種センサー関連でプリント基板が順調。工作機械の需要増加に伴う制御装置関連の生産も活発化している。

● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて14.3で、前回と同率だった。「前年同期比」では64.3で、前回の57.1から改善している。「3ヶ月後」の予想は0.0で、前回の14.3から悪化した。自動車部品関連は各メーカーとも好調に推移しているが、日産とスバルの無資格者検査問題の影響を懸念する企業が多い。自動車エアコン部品は、海外向け電気自動車用の受注が好調。減速機は、中国の産業用機械向けと、国内省力化機械向けで受注が活発化している。船外機は米国のOEM製品が好調な動きとなっている。

● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて50.0で、前回の21.5から大幅に改善した。「前年同期比」は41.6(前回50.0)でやや悪化した。「3ヶ月後」の予想は△9.1(前回7.1)で、慎重な見方が増えている。デジタルカメラはスマートフォンにない機能を備えた高級機種の生産が伸びている。スコープの需要も堅調。圧力計や医療部品も好調な動きが見られる。

② 規模別業況

業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人」規模は前回の22.4から6.0へ悪化し、「30～99人」規模

は前回の21.0から27.9へ改善、「100人以上」規模は前回の18.7から18.8でほぼ同率だった。「前年同期比」は「1～29人」規模が27.2で前回の32.8から悪化し、「30～99人」規模は46.5で前回の41.9から改善し、「100人以上」規模は37.5で、前回の43.7から悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「1～29人」規模が△3.1で前回の△3.0とほぼ同率で、「30～99人」規模は9.3で前回の20.9から悪化し、「100人以上」規模は6.2で前回の37.5より悪化した。

③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「増加」企業32.0%、「減少」企業14.4%で17.6と、前回調査時の29.4から、やや悪化した。「前年同期比」は40.0で前回の35.7から改善した。一方、「3ヶ月後」の予想は前回の4.8から4.0へやや悪化した。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は7.6で、前回の28.3から悪化した。「30～99人企業」は32.5で、前回の27.9から改善し、「100人以上企業」は18.7で前回の37.5から悪化している。「前年同期比」では「1～29人企業」が28.8で前回の28.4とほぼ同率だった。「30～99人企業」は53.5で前回の41.9から改善し、「100人以上企業」も50.0で前回と同率だった。「3ヶ月後」の予想は「1～29人企業」が△6.1で前回の△11.9から改善し、「30～99人企業」は前回の18.6から16.3とやや悪化予想が増えた。「100人以上企業」は12.5で前回の37.5から悪化予想が多くなっている。

業種別(主要5業種)の「3ヶ月前比」は、「精密機械」は28.6から41.7、と改善し、「一般機械」は15.7と同率、「金属製品」が前回の55.5から23.5、「輸送用機械」は28.6から21.4、「電気機械」は24.0から△4.1へ悪化した。「前年同期比」は、「輸送用機械」が64.3から85.7、「精密機械」は42.9から66.7、「金属製品」が72.2から76.5へ改善し、「一般機械」は21.9から15.6、「電気機械」は36.0から25.0へ悪化した。「3ヶ月後」の予想は、「一般機械」は3.2から12.5、「電気機械」は4.0から8.3、へ改善し、「金属製品」は5.5から0.0、「精密機械」は7.1から0.0、「輸送用機械」は21.5から7.1へ悪化した。

業種別・規模別受注状況表

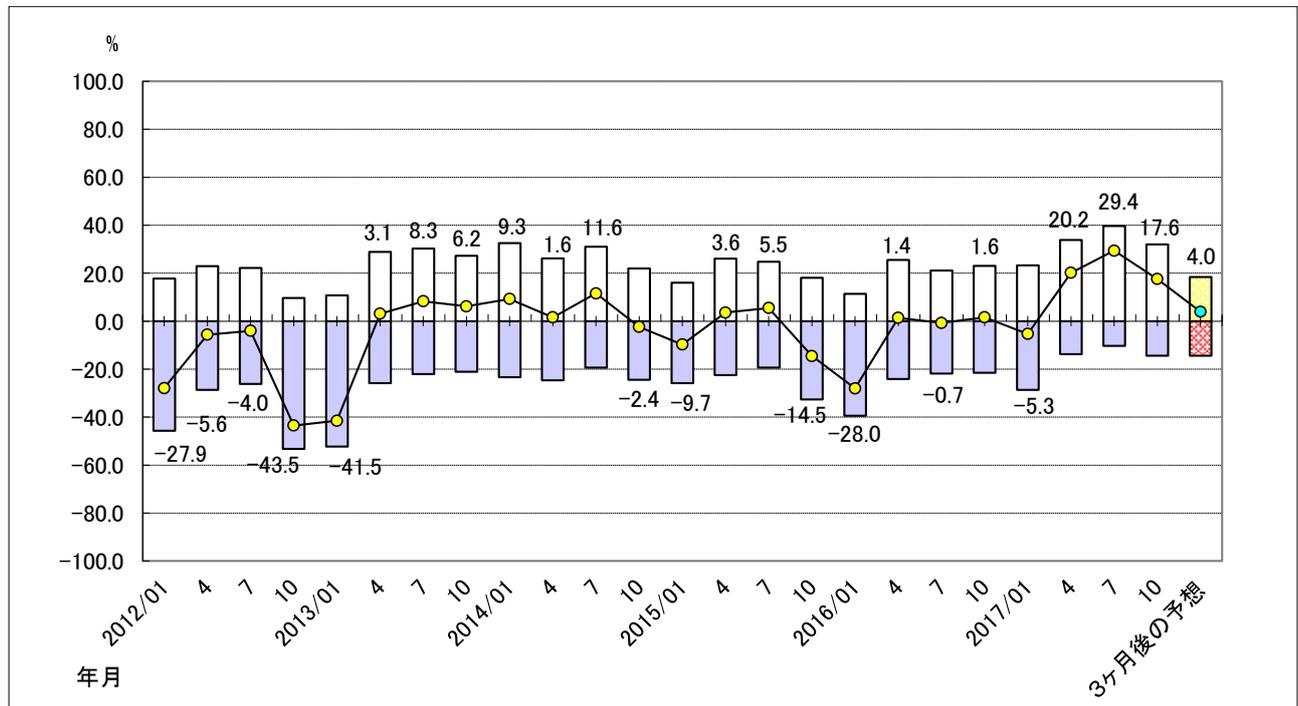
表-3

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	
製造業	125	32.0	53.6	14.4	17.6	125	55.2	29.6	15.2	40.0	125	18.4	67.2	14.4	4.0	
規模	1～29人	66	27.3	53.0	19.7	7.6	66	45.5	37.9	16.7	28.8	66	10.6	72.7	16.7	-6.1
	30～99人	43	37.2	58.1	4.7	32.5	43	65.1	23.3	11.6	53.5	43	27.9	60.5	11.6	16.3
	100人～	16	37.5	43.8	18.8	18.7	16	68.8	12.5	18.8	50.0	16	25.0	62.5	12.5	12.5
中分類	金属製品製造業	17	35.3	52.9	11.8	23.5	17	82.4	11.8	5.9	76.5	17	17.6	64.7	17.6	0.0
	一般機械器具製造業	32	31.3	53.1	15.6	15.7	32	37.5	40.6	21.9	15.6	32	21.9	68.8	9.4	12.5
	電気機械器具製造業	24	16.7	62.5	20.8	-4.1	24	45.8	33.3	20.8	25.0	24	20.8	66.7	12.5	8.3
	輸送用機械器具製造業	14	21.4	78.6	0.0	21.4	14	85.7	14.3	0.0	85.7	14	21.4	64.3	14.3	7.1
	精密機械器具製造業	12	50.0	41.7	8.3	41.7	12	75.0	16.7	8.3	66.7	12	16.7	66.7	16.7	0.0

製造業の受注状況DIの推移

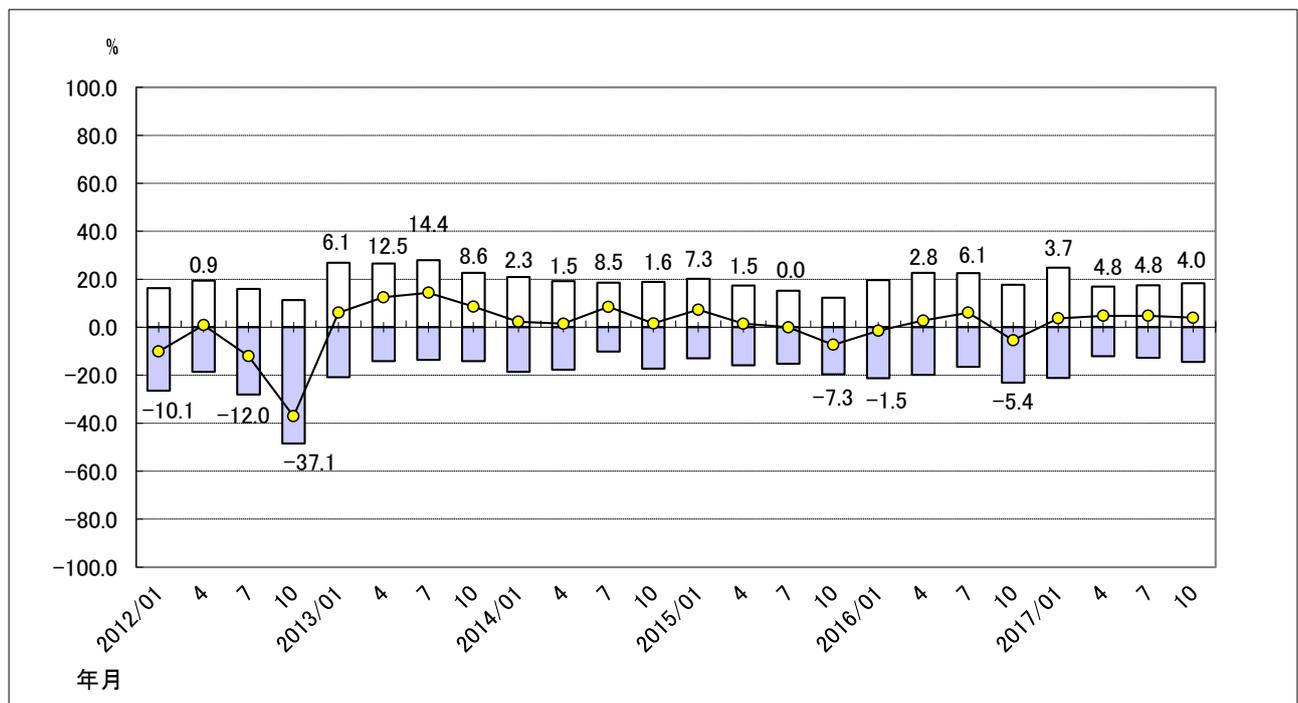
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



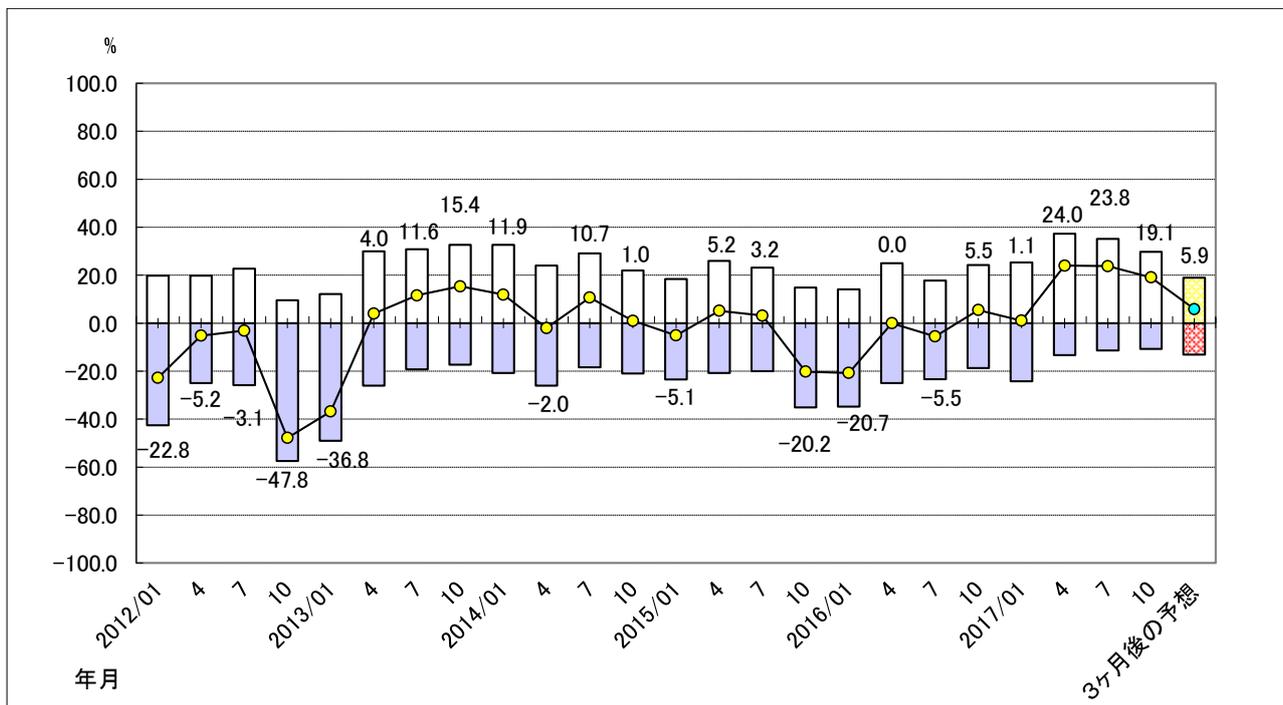
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



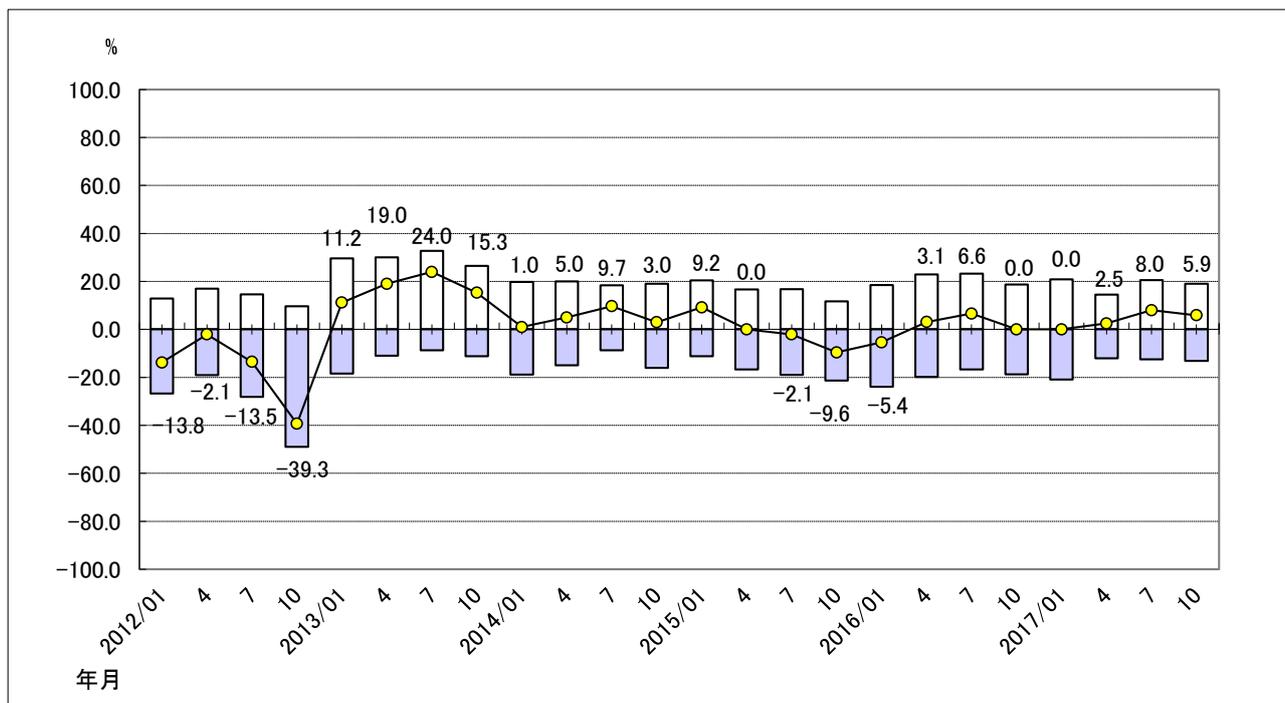
●製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

① 商業

「前年同期」と比較すると、業況判断DIは△11.6(前回 3.9)、売上DI△26.9(同 3.8)、来店客数DI△34.6(同△3.9)と悪化している。前年同期は天候が良く、小宮御柱祭効果もあったことから、減少が目立つ。諏訪地方の消費者の購買意欲はまだ低いと感じる店舗が多い。

- 食料品 野菜は栽培時の天候が良く相場安。不漁のサンマ、サケ、タコなどは高値が続いた。
- 大型小売店 群馬県などでO157 発生以降、惣菜の量り売りを中止し、パック販売が行われた。
- 自動車 諏訪地方の10月の車庫証明件数(軽自動車除く)が898件で、前年同月比では34件増加(3.9%)した。昨年11月から12ヶ月連続で前年同月を上回っている。
- 野菜直売所 マツタケや雑キノコの不作、天候不順、野菜全般の価格下落の影響を受けた。
- 書店 書籍は日系英国人カズオ・イシグロ氏のノーベル文学賞受賞で売上が伸びた。
- 飲食店 台風や衆院選などの影響を受け、軒並み来店客減少に見舞われた。魚類の高値でメニューを見直した店舗もある。

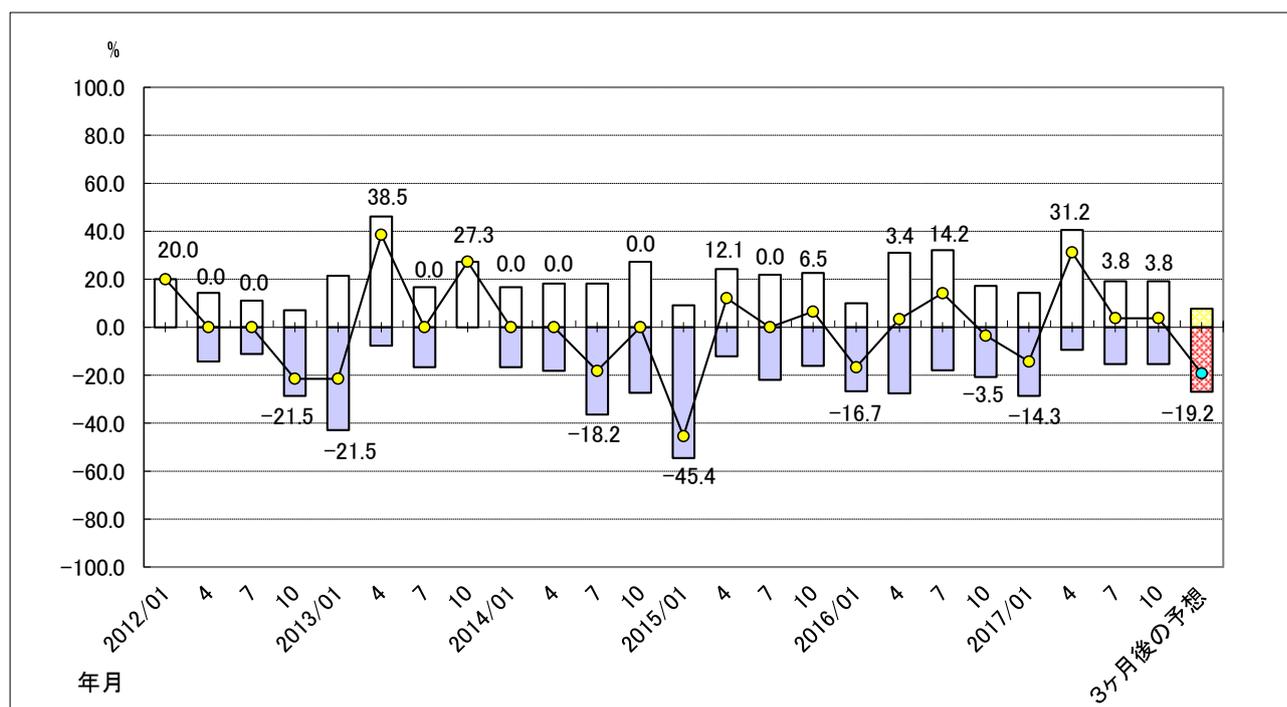
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	26	19.2	65.4	15.4	3.8	26	26.9	34.6	38.5	-11.6	26	7.7	65.4	26.9	-19.2
客単価	26	11.5	73.1	15.4	-3.9	26	15.4	65.4	19.2	-3.8	26	11.5	69.2	19.2	-7.7
来店客数	26	11.5	57.7	30.8	-19.3	26	7.7	50.0	42.3	-34.6	26	3.8	69.2	26.9	-23.1

●商業全社:「3ヶ月前」と比べて業況判断DIの推移

グラフ-8



② 観光・サービス業

8月以降の天候不順で、諏訪湖周辺施設への入り込みは総体的に減少傾向となっている。また、10月は週末2度の大型台風で、団体旅行の中止や延期、個人客の予約キャンセルがあり、大きな影響をおよぼした。反面、体験工房などの屋内施設は来訪者が増加した。高原では例年、紅葉の季節の集客ができるが、今年は見ごろ期間が短く、観光客の入り込みも少なかった。

- 上諏訪温泉 10月の宿泊客数はほとんどの施設が前年同月比で2~18%減少した。30人以上の団体客は前年を上回ったが、2~4人の個人客が大幅に減少した。方面別では県内以外ではほとんど前年を下回った。インバウンドは微増だった。
- 下諏訪温泉 台風によるキャンセルは施設によってまちまち。天候不良で屋内施設が好調だった。
- 蓼科・白樺湖・ 台風だけでなく、霧の発生も多く、紅葉観光に影響した。蓼科では停電による売上減少もあった。フレンチブルーの日はにぎわった。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた10月の参拝者数は約6万3千人で、前年同月比約1万2千人の減少(△16.4%)となった。

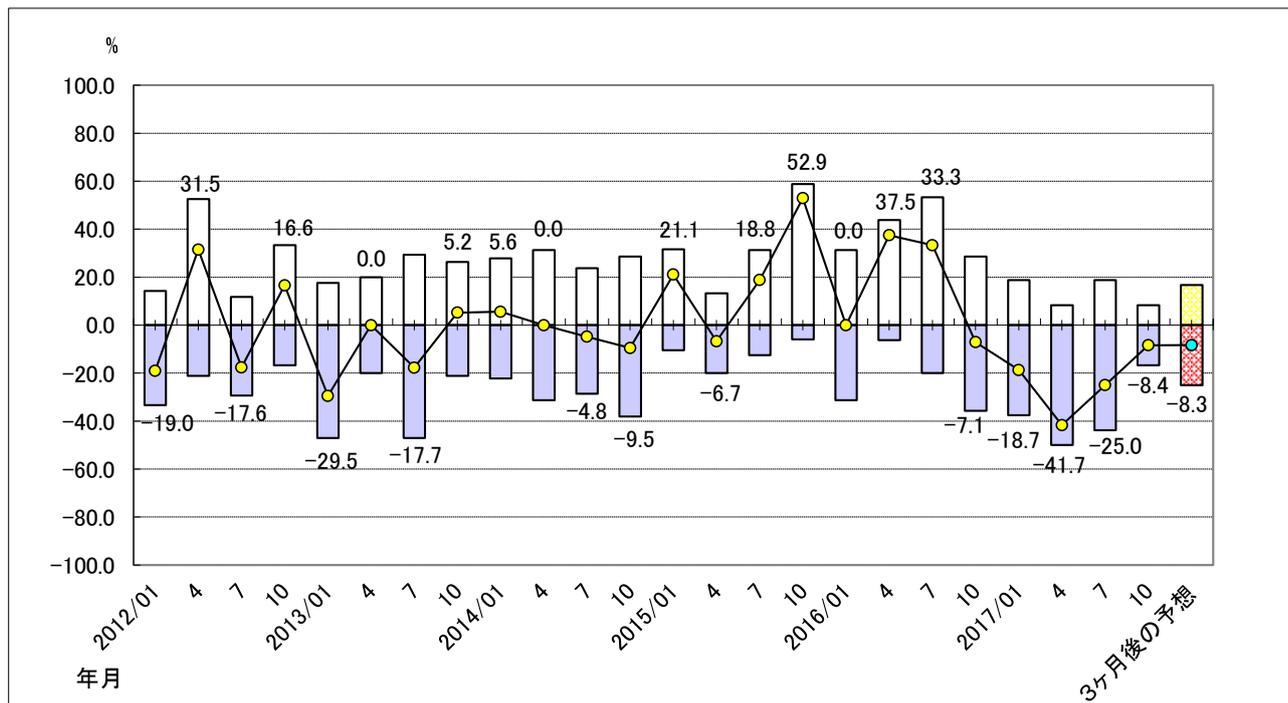
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	12	8.3	58.3	33.3	-25.0	12	8.3	75.0	16.7	-8.4	12	16.7	58.3	25.0	-8.3
客単価	12	8.3	66.7	25.0	-16.7	12	0.0	83.3	16.7	-16.7	12	8.3	66.7	25.0	-16.7
宿泊客数	12	25.0	25.0	50.0	-25.0	12	16.7	58.3	25.0	-8.3	12	25.0	41.7	33.3	-8.3

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-9



3.建設業

「3ヶ月前」と比べた外注発注量DIは 26.6 で、前回の 0.0 から改善した。また、資金繰りDIは前回の 6.2 から 0.0 へ悪化し、収益性DIは 0.0 で前回と同様だった。「前年同期比」では、業況判断DIは 13.3 で前回の 6.2 から改善した。売上DIも△6.2 から 20.0 へ改善した。受注状況DIも 0.0 から 13.4 へ改善した。一方、「3ヶ月後」の予想DIは、受注状況が△13.3(前回 0.0)で悪化し、外注発注量も 6.7(前回 18.8)と悪化している。公共工事の入札で不調になった案件は、応札者がなかったケースがある。落札された案件でも応募者が減少傾向で、工事関係者の人手不足の影響と見られている。

●建築工事

諏訪地方の平成 29 年 9 月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市 13 戸、諏訪市 27 戸、茅野市 18 戸、諏訪郡 27 戸の合計 85 戸だった。長野県全体の 9 月の新設住宅着工戸数は 1,083 戸で、前年同月比 5.6%減少した。持家は 3ヶ月連続減少、貸家は 4ヶ月連続の減少、分譲は 2ヶ月連続の増加となった。

●公共工事

地元業者が受注した平成 29 年 10 月の国県関係の公共工事は 8 件、103 百万円だった。市町村からの受注工事は、建築工事 6 件 145 百万円、土木 65 件 538 百万円、その他 16 件 149 百万円だった。

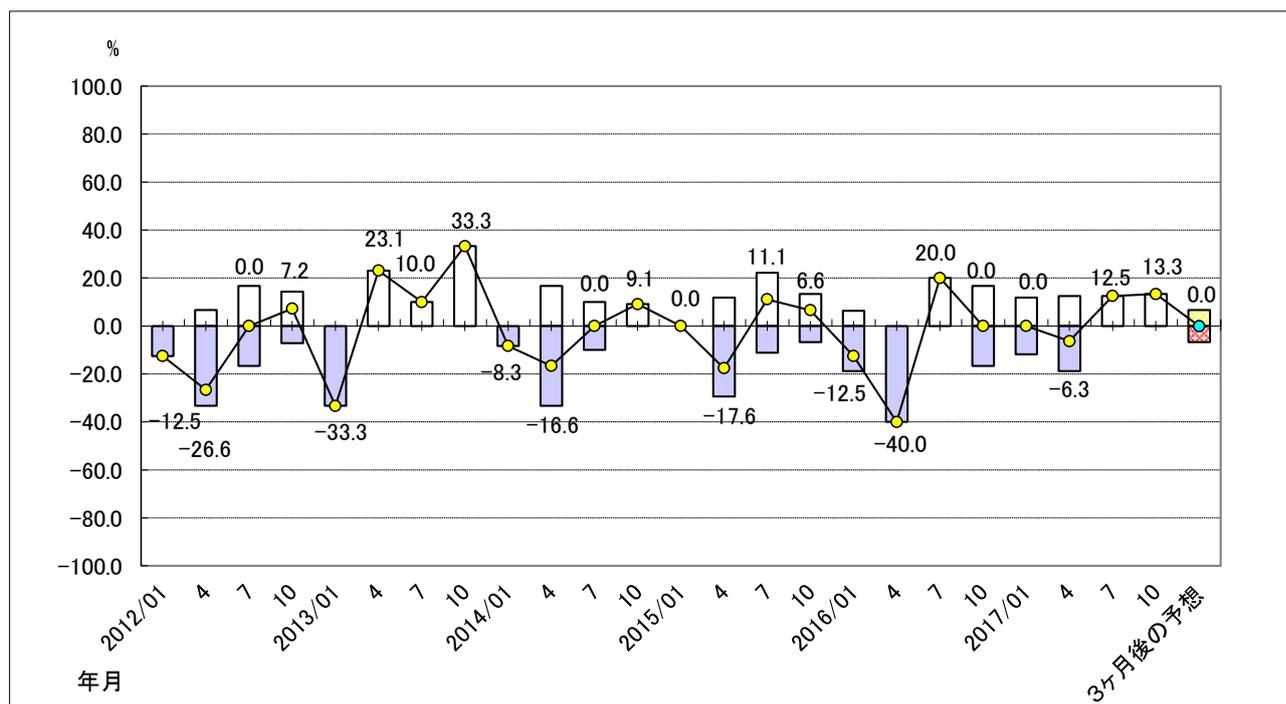
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	15	13.3	86.7	0.0	13.3	15	20.0	73.3	6.7	13.3	15	6.7	86.7	6.7	0.0
受注状況	15	33.3	66.7	0.0	33.3	15	26.7	60.0	13.3	13.4	15	6.7	73.3	20.0	-13.3
外注発注量	15	33.3	60.0	6.7	26.6	15	33.3	53.3	13.3	20.0	15	20.0	66.7	13.3	6.7

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



4.収益性状況

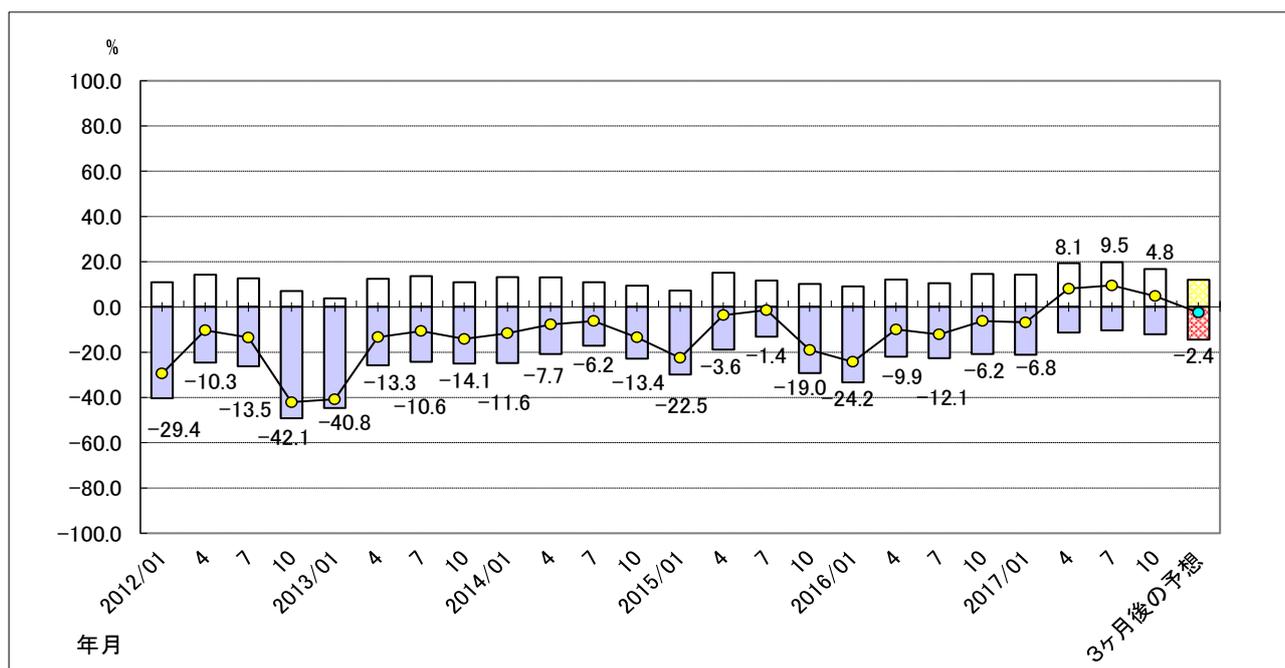
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 15.7%、「悪化」企業 15.2%で、同DIは0.5と前回調査時の8.7から悪化した。「前年同期比」でも4.5で、前回の17.4より悪化している。

「3ヶ月前」と比べて製造業は4.8で前回の9.5より4.7ポイント悪化し、非製造業は△9.4で前回の6.9より16.3ポイント悪化している。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△2.4で前回の3.2より悪化し、非製造業は△11.3で前回の0.0より悪化している。回答全社でも△5.1で、前回の2.2より悪化している。

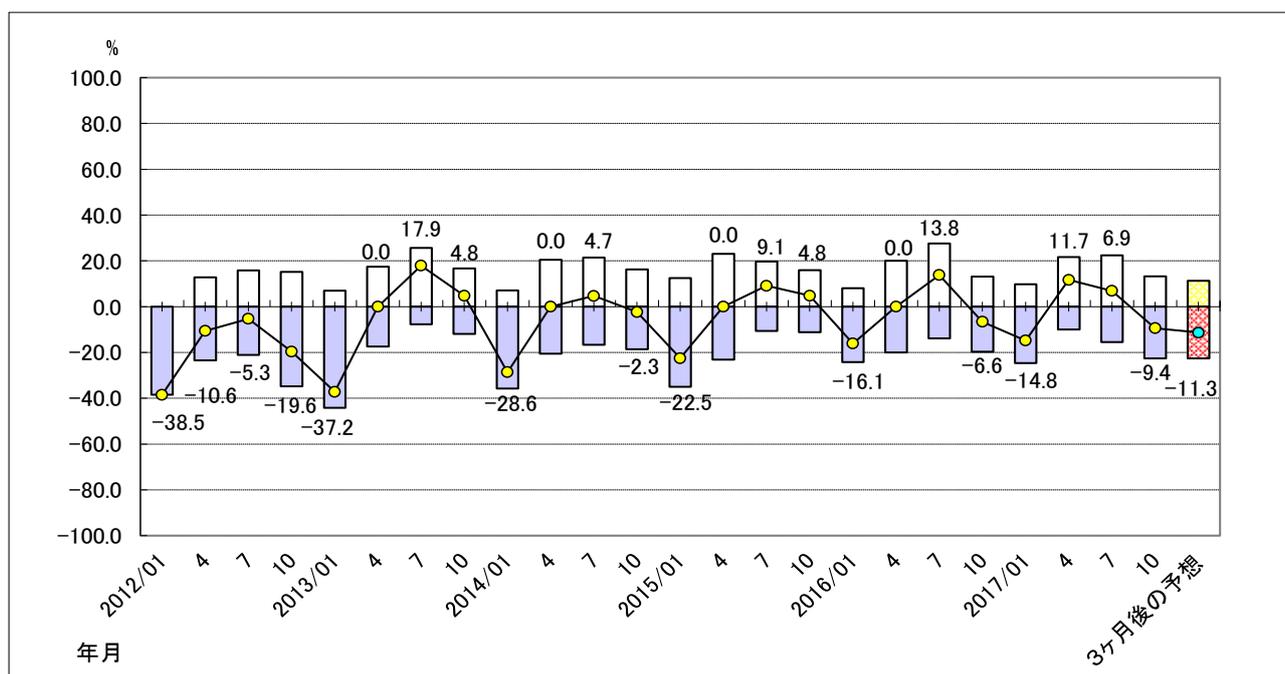
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は労働力確保と売上減少②商業は売上減少と労働力確保③建設業は労働力確保と人件費④観光・サービス業は労働力確保、売上減少、資金繰り、人件費となっている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	56	33	15	4	4
単価引下げ	21	17	2	1	1
競争激化	41	27	10	3	1
資金繰り	32	19	6	3	4
人件費	38	22	7	5	4
労働力確保	101	74	11	11	5

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【9月】	ハローワーク諏訪	1.64倍	0.07ポイント	
手形交換高【10月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	5,862枚	920枚	
	金額	9,302百万円	2,172百万円	
	うち不渡り 発生状況	枚数	0枚	△1枚
	金額	0千円	△91千円	
車庫証明取扱件数【10月】(諏訪地方合計)		898件	3.9%	
新設住宅着工戸数【平成29年4月～9月】(諏訪管内)		546戸	△8.5%	

7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

- ① 調査期間 平成29年10月末。
- ② 調査内容 「平成29年10月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想。
- ③ 調査方法 アンケート調査およびヒアリング調査(約130社)。
- ④ 対象地域 諏訪地域全域。
- ⑤ 業種 製造業、商業、建設業、観光・サービス業。
- ⑥ 回答企業数 178企業。
- ⑦ 回答率 71.2%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	170	40	20	20	250
回答数	125	26	15	12	178